

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月4日 (日)

会場 日立製作所日立体育館

【女子の部】 第3日目 Bコート 第1試合

チームA 県立富岡 神奈川	92	{ 19 2Q 21 25 3Q 21 23 4Q 22 OT	71	チームB 東京成徳大 学 東京
---------------------	----	---	----	--------------------------

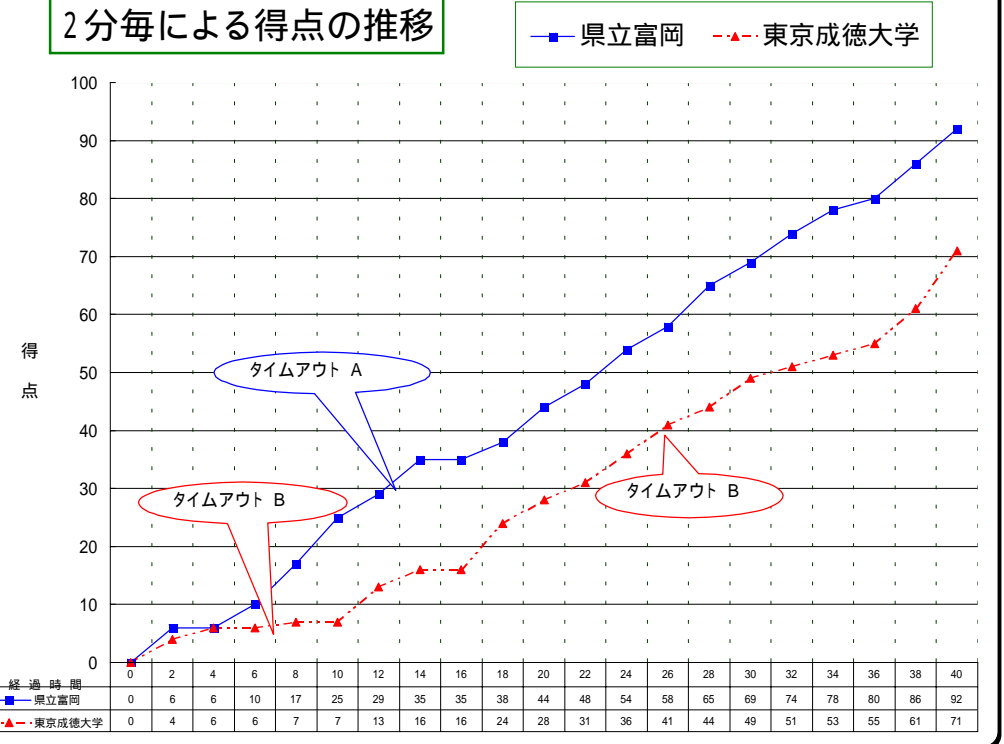
県立富岡

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	松井 涼子	9	1	3	3	10	0	0	2	1	4	1	1	0	0	31
5	井浦 幸子	6	0	1	3	5	0	0	1	2	3	4	5	4	1	27
6	関根麻衣子	6	0	7	3	6	0	0	3	1	1	1	0	2	0	33
7	森本 由樹	21	1	1	7	13	4	4	4	1	5	3	4	2	0	16
8	萩原 歩	14	0	1	6	12	2	3	4	4	3	3	0	1	0	28
9	蒲谷 千恵	8	1	1	2	4	1	2	1	1	3	2	0	0	0	15
10	倉光栄利子	7	1	1	2	2	0	0	2	1	0	3	0	0	0	11
11	深見 沙代	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
12	四家 香利	0	0	1	0	0	0	0	3	0	1	2	1	1	0	8
13	杵鞭 喜子	2	0	0	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
14	陳 美智	17	0	0	7	9	3	3	4	0	3	0	2	1	1	18
15	中谷由貴子	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
コーチ	星澤 純一								0							
合計		92	4	16	35	67	10	12	25	11	25	19	13	11	2	200
確率			25.0%		52.2%		83.3%			計	36					

東京成徳大学

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	金子 仁美	1	0	2	0	0	1	2	2	0	3	2	0	1	0	9
5	瓜坂奈津子	9	0	1	3	5	3	4	2	1	2	3	1	2	1	39
6	杉山 久永															DNP
7	大西 真由	10	0	0	2	4	6	8	1	1	6	3	0	0	0	32
8	吉田 沙織	27	4	10	4	14	7	11	4	1	0	5	2	1	0	34
9	水沢 春奈	15	0	3	6	10	3	5	1	0	2	1	3	0	0	26
10	金子 元美	0	0	6	0	4	0	0	1	1	1	1	1	3	0	29
11	岸 さやか															DNP
12	川村 優	6	2	4	0	0	0	0	0	0	0	2	1	2	0	20
13	小林 奈穂															DNP
14	渡辺 沙織															DNP
15	高田真里子	3	0	0	1	2	1	1	1	0	1	5	0	0	1	11
コーチ	下坂須美子								0							
合計		71	6	26	16	39	21	31	12	4	15	22	8	9	2	200
確率			23.1%		41.0%		67.7%			計	19					

2分毎による得点の推移



戦評

両チームマンツーマンでスタート。徐々に富岡が激しいプレッシャーマンツーマンでターンオーバー、リバウンドから#7森本の速攻や3Pなどを中心に次々と得点し完全にゲームの主導権を奪う。第1Pは富岡25 - 7と大きくリードする。

第2P、東京成徳はマンツーマン、プレス、ゾーンとめまぐるしくディフェンスを変える。富岡は#7森本が3つファウルでベンチに下がるとリズムを失いターンオーバーを繰り返す。東京成徳は#7大西らの活躍で激しく追いかける。富岡も苦しい中で#9蒲谷の3Pなどでつないで44 - 28とリードを保って前半を終了する。

第3Pに入ると互角の攻防となる。富岡が#8萩原のゴール下、#14陳の速攻などで得点すれば、東京成徳も#8吉田を中心に追いかける。東京成徳がなんとかゲームの流れをつかもうとするが富岡はそれをさせない。

第4Pになっても富岡のディフェンスはくずれない。両チーム交互に得点を入れあうが富岡が速攻を中心に点差を広げて行く。終盤、メンバーを大きく入れ替えた富岡を東京成徳は必死で追いかけるも終始ゲームを支配した富岡が92 - 71で勝利した。

主審 藤垣 庸二

副審 宮田 宗典

記入者 海老原 毅